

数百年の風雪に耐えてビクともしない石垣——。
それは色や形の異なる大小さまざまな石がガッチリ組み合わせられてきています。
国の経済もまた大企業や中小零細企業が相互に補完しあってこそ、力強い発展を続けることができるのです。
あらゆる業種・業態の大企業から中小零細企業までをもメンバーとする商工会議所は、
地域経済の伸長発展を担いつつ、日本経済を守り続ける「石垣」です。

題字の揮毫は、三村明夫・日本商工会議所会頭の筆によるものです。

現代に息づく職人技

「以為（日光杉の酒器）」

ミランダスタイル（栃木県宇都宮市）

撮影：加藤正博



「以為」（おもえらく）という日本書紀からの言葉を冠したブランドには、匠の技と素材を以て心を伝えたいというもてなしの精神が込められています

今月は、日光の銘木である杉を使用した徳利と櫛をご紹介します。

杉は真つすぐに育ち、空気の浄化、保温・抗菌などの機能があることから、古くから建材として親しまれてきました。徳川三代に仕えた松平正綱により日光東照宮への参道に植樹された杉並木は、世界遺産や特別史跡、特別天然記念物にも指定され、今も厳かに参拝客を迎えています。

地産地消をテーマにつくられた日光杉の酒器は、「木工のまち鹿沼」の職人が一つひとつ手作業で仕上げられます。杉ならではの美しい木目が引き立つ直線的なデザインと、温もりのあるやわらかな手触りが特徴です。また、日本酒が本来持つている香りや風味を損なうことなく、よりまろやかな口当たりを楽しむことができます。

ミランダスタイルではこのほかにも、栃木県のみで産出する大谷石を活用した食器や料理道具も展開。その洗練された素材と技術、デザイン性の高さが注目を集め、世界中の食卓を豊かに彩っています。